

令和8年7月28日（火曜日）

- 令和8年度清水町教育研修会に出席しました。
本研修会では、各教育機関の教員の皆さま、PTAの皆さま、学校運営協議会委員の皆さまに、町の教育方針や重点事項をお伝えしました。
また、町立小・中学校卒業生による座談会では、清水町で夢を抱き、最高峰の舞台で活躍された元プロ野球選手の石川雄洋様、元女子ラグビー日本代表で、現在は町ふるさと大使を務める野毛伸子様をゲストにお迎えし、恩師も交えながら、当時の思い出や学校生活で学んだこと、その後の歩みについてお話しいただきました。
今後も、関係機関と地域が連携・協働し、子どもたちの健やかな成長を支えられるよう、町としましても全力を尽くして支援してまいりますので、引き続き、教育関係者の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



令和8年7月18日（土曜日）

- 柿田川湧水保全の会様が主催する柿田川の環境美化活動に参加しました。
当日は、柿田川みどりのトラスト様や臼井国際産業株式会社様をはじめ、多くの皆さまにご参加いただき、柿田川公園内の清掃と特定外来生物の駆除作業を実施しました。
ご参加いただいた皆さまに、心から感謝を申し上げます。
町としましても、関係機関の皆さまと連携を深めながら、今後も町の宝である柿田川の環境保全に努めてまいります。



令和8年7月9日（木曜日）

- 全国町村下水道推進協議会主催の「全国町村下水道推進大会」が島根県出雲市で開催され、副会長として出席しました。
本大会では、経営環境が厳しい町村下水道の実情を踏まえ、下水道施策に関する政府等への陳情・要望内容の決議を行いました。また、町村の規模や地域の実態に応じた、効率的かつ経済的な整備方法についての調査・研究および町村下水道をめぐる情報交換を行いました。
来年度の全国町村下水道推進大会は、清水町が開催町となります。
全国の町村から多くの関係者をお迎えするこの機会を生かし、開催町として町村下水道の発展に貢献できる大会を開催してまいります。



令和8年7月8日（水曜日）

- まほろば館において、BSよしもとのテレビ番組「発信Liveジモトノチカラ！」内で放送される「ニッポン全国ふるさと自慢」の収録が行われました。
収録当日は、静岡県住みます芸人であるお笑いコンビ「ぬまんづ」のうえたけさんからインタビューを受け、町の魅力や取り組みについてお答えしました。
インタビューの後には、芸人・町長チームと副町長・教育長チームに分かれてモルック対決を行いました。笑いの絶えない和やかな雰囲気の中にも、両チームが一投一投に真剣に向き合う白熱した展開となりました。
番組は、7月20日（月・祝）13時からBSよしもとで放送予定です。ぜひご覧ください。



- 沼津市役所において「沼津市・清水町 就労支援に関する協定書」の締結式を行いました。
 今回の協定締結により、広域的な視点から両市町の就労支援に取り組めることは、大変意義深いものであると感じております。
 来年2月には、沼津市と清水町の合同による就職面接会の開催を予定しております。
 今後も両市町の連携をさらに深め、より実効性の高い就労支援を推進できるよう努めてまいります。



令和8年7月4日（土曜日）

- 幼魚水族館の周年イベントである「第4回幼魚サミット～小さな命が人の営みを繋ぐ～」(町共催)が開催されました。
 今回の幼魚サミットでは、海の生き物に関わる11人のスペシャリスト「幼シャングズ11」の皆さまが登壇し、それぞれの研究や活動について大変興味深いお話をしてくださいました。
 海や魚、そして幼魚をより身近に感じることができる貴重なエピソードを聞かせていただき、幼シャングズ11の皆さまには心から感謝申し上げます。
 また、日頃から町のふるさと大使として、町のPR活動に多大なご協力をいただいている鈴木香里武さん(幼魚水族館館長)と石垣幸二さん(同館広報)に、改めて深く感謝を申し上げます。



令和8年7月2日（木曜日）

- 令和8年度清水町噛むカムケア8020コンクール表彰式を開催しました。
本コンクールは、「80歳になっても20本以上、自分の歯を保とう」という「8020運動」の一環として、駿東歯科医師会清水町支部と共同で実施しているものです。今年度は、静岡県歯科医師会長賞を受賞された渡辺恒子様をはじめ、多くの皆さまが優秀な成績を収められました。今回の参加者の平均年齢は84歳、歯の平均本数は25本であり、大変素晴らしい結果となりました。
栄えある賞を受賞された皆さまに心からお祝い申し上げますとともに、今後とも町民の模範として、8020運動の推進にご協力をお願いいたします。



令和8年7月1日（水曜日）

- 元大阪府四条畷市副市長の林（小野）有理様を講師にお招きし、「持続可能な組織のつくり方」をテーマにした職員研修を開催しました。
近年、行政に求められる役割はますます多様化し、その責任も大きくなっています。こうした状況の中、住民サービスの向上へとつなげていくためにも、「持続可能な組織づくり」を進めることが急務となっています。
ご多忙のところ、講師をお引き受けいただいた林様に心から感謝申し上げますとともに、本日の研修を通じて職員が多くの気づきや学びを得て、今後の行政運営に生かしていくことを期待しています。

